

## インフォシス、ServiceNow と協業 製造業顧客向けにエンタープライズ・レベルのサービス管理を提供

Infosys Cobalt のクラウド・ブループリントを活用し、インフォシスと ServiceNow が共同でオペレーショナル・テクノロジー (OT) 管理を提供、工場、現場、プラント運用のデジタル化を図る

**バンガロール (インド) - 2021 年 9 月 21 日:** 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE: INFY) は、本日、人にとってより良い仕事を創る大手デジタル・ワークフロー会社の [ServiceNow](#) と協業し、製造業界の顧客を対象としたエンタープライズ・レベルのサービス管理を提供することを発表しました。この協業を通じて、インフォシスは [Infosys Cobalt](#) の提供サービスである業界別クラウド・ブループリントを活用して ServiceNow Operations Technology Management (OTM) を展開し、製造業界が推し進める工場、現場、プラント運用のデジタル化を支援します。

今回の協業の一環として、インフォシスは ServiceNow OTM と並び、Now プラットフォーム上に構築された [Enterprise Service Management \(ESM\) Café](#) の利用により、製造業のランドスケープ全域におよぶクリティカルな OT システム の耐性と可用性の向上を図ります。また、今回の協業を拡大し、消費財、エネルギー、小売セクターにおける工場および運用のデジタル化ニーズにも対応していきます。

近年、インフォシスと ServiceNow は、健康、安全、持続可能性に配慮したインテリジェントな建物およびコールドチェーン・ソリューションの大手グローバル・プロバイダーである [Carrier Global Corporation](#) と協業し、同社の親会社である United Technologies Corp. (UTC) からの分離を果たすという目標の達成を支援しました。定められた期間で実施された Carrier 社の IT、HR サービスデスク、およびセキュリティ運用の変革には、Infosys Cobalt の ESM Café が活用されました。Carrier 社がインフォシスを選定するにあたり、インフォシスの持つ Now プラットフォームによるレガシー環境の変革、実行のスピード、および IT を超えた高速大規模導入の専門知識が決め手となりました。

**Carrier 社デジタル担当シニア・ディレクターの Polly Fabry 氏**は次のように述べています。「今日、製造業が模索しているのは、最新のクラウド技術を利用してデジタル変革、サプライチェーンの最適化、工場の業績改善、製品のイノベーションの高速化、およびサービス提供の強化を実現する方法です。インフォシスを当社のパートナーに選んだのは、ServiceNow プラットフォームの可能性をフル活用できるインフォシスの専門知識が、Cobalt ポートフォリオを通じて提供



されることが決め手となったためです。インフォシスと ServiceNow の協業により、当社は変化する市場に対応しビジネスのレジリエンスを推進する、より高速で革新的な方法を見つけられると確信しています。」

**インフォシスのクラウド・インフラストラクチャー・ソリューション責任者および検証ソリューション担当のエグゼクティブ・バイス・プレジデント Narsimha Rao Mannepalli** は次のように述べています。「製造業のデジタル変革が、今ほどクリティカルであったことはこれまでにありません。現状のシナリオを踏まえ、ビジネスの高速な革新を促し将来に備える一方で、同時にバリューチェーン全体における既存の運用の最適化とコスト削減を図ることへのニーズが、いっそう増大しています。当社は Infosys Cobalt が持つ力と ServiceNow とのリーダー同士の協業により、お客様が何倍ものビジネスのメリットを手にされるようご支援してまいります。」

**ServiceNow のインダストリー・パートナーシップ担当グローバル責任者 Binoy Gosalia 氏**は次のように述べています。「スピードとアジリティは OT セキュリティの保守において非常に重要です。Infosys Cobalt が提供する Enterprise Service Management Café は、製造業界の顧客の ServiceNow への移行の軌跡を、AI 主導型のプラグ・アンド・プレイ方式の展開ソリューションにより高速化しています。今日の急速に変化する環境の中で製造企業の前進と成功を実現するための、当社とインフォシスとの継続的な協働に大きな期待を持っています。」

**インフォシスのエグゼクティブ・バイス・プレジデント兼製造業担当グローバル責任者の Jasmeet Singh** は次のように述べています。「今回の協業を通じて ServiceNow との長期にわたる関係性がいっそう深まることを大変喜んでおります。当社の製造業界に関する深い専門知識を基盤として、スマート製造の導入にあたり不可欠な能力である OT 資産の可視性とサイバーセキュリティの最大化をご支援いたします。ESM Café は、組織がテクノロジーを利用して生産プロセスを拡張し、未来の工場へと自らを変革する方法を根本的に変えるものです。」

## インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 か国でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、[www.infosys.com](http://www.infosys.com) をご覧ください。

## セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへのCOVID-19の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のあるITサービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2020年会計年度年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、[www.sec.gov](http://www.sec.gov)でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

## お問い合わせ先

マーケティング本部 安藤 09010450448

Mail: [jo\\_ando@infosys.com](mailto:jo_ando@infosys.com)